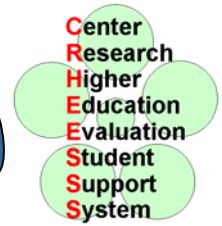


# 週刊センターニュース No.195



第195号(2008年2月18日)毎週月曜日発行  
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL：[http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 教育再生会議の最終報告について

平成20年1月31日、教育再生会議「社会総がかりで教育再生を 教育再生の実効性の担保のために (最終報告)」が公にされました。「最終報告」は、同会議の下でこれまで公表されてきた第一次報告から第三次報告までの提言を基に、これらを総括したものとして位置づけてよいものです。

教育再生会議の役割は、この「最終報告」を以って終了することとされています。「最終報告」は、これまでの教育再生会議の諸提言の実効性を担保するため、同会議に替わる新たな会議を内閣に設置するよう強く求めています。

教育再生会議が提起した諸提言のうち、国や社会がフォローアップしていくことが求められる高等教育に関わる項目を、次に掲記します。

- ・ 大学は、「教育の質」を高め、成績評価の厳格化を図り、卒業生の質を保証する。
- ・ 大学は教養教育を重視し、社会や産業界、地方公共団体との連携を深め、社会人としての基礎的能力と専門的能力を備えた卒業生を送り出す。
- ・ 大学は学長のリーダーシップにより改革を推進するとともに、「学部の壁」を破り、新しい学問分野の開拓・創出や社会の発展に寄与するため、教育組織を再構築する。
- ・ 大学院は、国際公募による第一級の教員の採用と国内外からの優秀な学生の獲得に努力し、国際競争に勝ち抜ける世界トップレベルの教育水準を目指す。
- ・ 国公立大学の連携により、国公私を通じた大学院の共同設置や地域における学部教育の共同実施を推進する。
- ・ 国立大学法人は教育水準向上のため必要に応じ「定員縮減」や「再編統合」を推進する。
- ・ 大学・大学院の国際競争力強化のため、改革の推進とともに、高等教育に対する投資を充実する。競争的資金の充実とともに現在の基盤的経費の取扱いはしかるべき時期に見直す。

上記の事項は、これまでの提言を再確認したものとしての意味合いが強く、それ自体に目新しいものはないとも言えるでしょう。

とはいえ、ここに挙げられているものは、これまでも「改革」の必要性が、各方面から訴えられてきたもので、今後、中央教育審議会を舞台に、高等教育改革の方向性が論議され、制度改革の枠組みについての検討が進展していく中で、上記の諸事項が、中期的展望に立った高等教育の「改革」のためのミニマム・リクワイアメントとして機能していく可能性のあることだけは、十分肝に銘じておくべきでしょう。

(文責：評価システム研究部門 早田幸政)

## 「アカンサスFD」を開設しました

4月からのFD義務化に伴い、当センターではアカンサスポータル内に、FDカレンダー「アカンサスFD」を作成しました。2月20日(水曜日)より、見ていただけるように致しました。

「学内版」(本学あるいは学内部局主催のもの、会場が学外になる場合を含みます)と「学外版」があります。学内版につきましては、近く、統一フォーマットを準備しますので、各部局のFD企画が決まりましたら、当センター宛(info-rche@ge.kanazawa-u.ac.jp)に送信していただき、本学の教育力アップのため、相互の研修・研究のために、ご協力いただきますよう、お願いします。当センターでは、全学FDの企画のみならず、各部局におけるFD企画に対して、テーマ別による適切な学内外講師の紹介、有効なアンケートのとり方などについての提案等により、協力いたします。是非ともご相談ください。

なお、義務づけられるFDについては、大学設置基準上、「当該大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」と定義されます。従来主として考えられてきた、授業方法改善の組織的研修だけでなく、授業内容改善の組織的研究もFDです。各種研究会・学会において、本学の「授業内容改善の組織的研究」に資すると考えられる企画につきましても、FDカレンダーにて紹介させていただきますので、当センター宛にご紹介いただきますようお願いいたします。

## 理学部FDシンポジウムのご案内

テーマ：「教育改革と授業評価アンケートについて」

日時：平成20年2月29日(金) 15:00～

主催者：理学部

会場：金沢大学角間キャンパス 自然科学5号館(理学部)大講義室(2階)

対象者：理学部、教職員

内容：「授業評価アンケート結果をどのように授業改善に生かしていくか」について、アンケート結果を次年度の授業改善計画書に反映している富山県立大学における実践例を伺う。

資料印刷等のため、事前に下記の問い合わせ先へのご連絡をお願いします。

問い合わせ先：金沢大学角間南地区事務部学生課学務第一係(理学部担当)

TEL 076-264-5634、FAX 076-234-4140

## 新着図書・資料のお知らせ

大学教育開発・支援センター図書室(総合教育棟南棟6階613号室、センター共同室の向かいです)に、以下の図書が入りました。是非ご活用下さい。

- ・大学生の就職とキャリア - 「普通」の就活・個別の支援 / 小杉礼子編、勁草書房、2007年
- ・日本のティーチング・アシスタント制度 - 大学教育の改善と人的資源の活用 / 北野秋男編著、東信堂、2007年
- ・大学授業入門 / 宇佐美寛著、東信堂、2007年
- ・30年後を展望する中規模大学 - マネジメント・学習支援・連携 / 市川太一著、東信堂、2007年
- ・改めて「大学制度とは何か」を問う / 館昭著、東信堂、2007年
- ・大学教育を変える教育業績記録 - ティーチング・ポートフォリオ作成の手引 / ピーター・セルディン著；栗田佳代子訳、玉川大学出版部、2007年